

目標未達成理由等の報告書

都道府県名	市町村名	地区名	事業実施年度	目標年度	事業実施主体
青森県	黒石市	厚目内地区	H30	R2	黒石市

I 経営体ごとの成果目標の未達成理由等

No.	対象経営体名	成果目標	目標未達成となった主な理由等	目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等
1	***	付加価値額の拡大	新型コロナウイルス感染症拡大の影響による需要の減少及び夏季の集中豪雨の影響による販売価格の低迷により農業収入が減少したことが原因と考えられる。	農業経営相談所等を活用し収入の増加や経費低減に向けた指導等を行い来年度の目標達成を見込む。
		経営面積の拡大	出し手農家との調整等に時間を要し、計画的な利用集積ができなかったことや、集約化できるほ場条件の良い農地が少なかったことが原因と考えられる。	農地情報の提供、農地中間管理機構の活用及び関係機関とのマッチングを進め、来年度の目標達成を見込む。

II 地区の成果目標ごとの未達成理由等

成果目標項目	未達成理由の総括	目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等
付加価値額の拡大	新型コロナウイルス感染症拡大の影響による需要の減少及び8月の集中豪雨による販売価格の低迷により農業収入が減少したことが原因と考えられる。	関係機関と連携しながらコスト削減につながる生産技術や導入機械の効率的な使用を指導し、来年度の目標達成を見込む。
経営面積の拡大	集約化できるほ場条件の良い農地が少なかったことや出し手農家との調整等に時間を要し、計画的な利用集積ができず目標の達成にはいたらなかったが、年々経営面積は拡大してきている。	農地情報の提供、農業委員会や農地中間管理機構と連携し、農地情報の提供及び農地中間管理機構の活用を進め、来年度の目標達成を見込む。

III 地域への影響等と構造政策を進めるための今後の取組方向

<p>1 担い手への農地利用集積について 農地利用集積等の現状をみると、担い手の高齢化問題、耕作放棄地の拡大等の課題がある。 今後は、新規就農者の拡大や若手の担い手の育成に努める。耕作放棄地については、担い手の高齢化や労力不足等により拡大しており、好条件の農地（耕作しやすい）に移行する傾向にある。農地利用集積については、農地中間管理機構の活用等による利用集積を促進する。</p> <p>2 必要となる中心経営体の育成について 将来の地域農業に関する地区全体のコンセンサスが十分にまとまっていない地区における中心経営体（集落営農、新規就農者、若手の担い手）の育成・確保に向けた検討等を行っていくこととする。</p> <p>3 人・農地プランの作成・見直し等について 令和2年3月25日に人・農地プランを実質化した。今後も担い手の確保に努め、農地の利用集積を図りたい。</p> <p>4 未達成者の対応等その他 構造政策を効果的に推進するため、未達成者に対するフォローアップを引き続き実施するとともに、今後の支援のあり方について、中心経営体の育成・確保状況やこれまでの活動状況等を踏まえて、関係者、J A、農業普及普及振興室等と定期的に情報交換し検討する。</p>

〔記入要領〕

- Iの「目標未達成となった主な理由等」欄については、経営体の成果目標の項目ごとに主な理由を記入する。
また、「目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等」欄については、これまでの達成状況等の推移を踏まえ、具体的な改善措置の内容、目標達成の見込とその時期について記入する。
- IIの「未達成理由の総括」欄については、地区の成果目標ごとに、未達成理由を総括的に整理する。
また、「目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等」欄についても、地区の成果目標ごとに具体的な改善措置の内容、目標達成の見込とその時期について総括的に記入する。
- IIIについては、IIで整理した地区の成果目標未達成理由等を考慮の上で、①地区内の担い手への農地利用集積状況や出し手・受け手の現状等を踏まえた課題と今後の具体的な対応策、②地域が必要とする担い手と地域内での役割分担の状況等を踏まえた課題と今後の具体的な対応策、③人・農地プランと現状との乖離状況等を踏まえた具体的な対応策等、④未達成者への今後の対応その他課題と対策等について記入する。